

平成28年度 農福連携体験モデル事業 手引書作成一覧

	作目	作業種類	実施時期	実施場所	作業実施者
1	桑	桑の葉枝分離作業	9月下旬	市川三郷町	精神障害者5人
2	桑	製品パックへのシール貼り	9月下旬	市川三郷町	精神障害者5人
3	ぶどう	笠交換と袋はずし作業	8月下旬	南アルプス市	精神障害者4人
4	ぶどう	収穫と笠取り	10月中旬	甲州市	知的障害者5人
5	ぶどう	笠のホチキス外し、たたむ作業	10月下旬	甲州市	知的障害者5人
6	ぶどう	笠の洗浄・乾燥	10月下旬	甲州市	知的障害者5人
7	ぶどう	棚の組立・設置作業	12月中旬	南アルプス市	知的障害者5人
8	ぶどう	木からテープをはがす作業	12月中旬	甲州市	知的障害者3人
9	米	稲刈り後の掛け干し作業	9月中旬	南アルプス市	精神障害者5人
10	米	稲の脱穀作業	9月下旬	南アルプス市	精神障害者5人
11	いちご	苗の定植作業	10月上旬	中央市	知的障害者5人
12	いちご	ハウス内の草取り	11月下旬	中央市	知的障害者1人
13	いちご	摘花作業	2月下旬	中央市	知的障害者1人
14	そば	実の選別作業	10月下旬	道志村	精神障害者6人
15	さつまいも	根切り・選別作業	11月上旬	北杜市	知的障害者2人
16	大根	洗浄作業	11月中旬	北杜市	知的障害者2人
17	大根	収穫・出荷作業	11月中旬	北杜市	知的障害者2人
18	柿	収穫作業	11月中旬	南アルプス市	精神障害者4人
19	桃	畑の肥料まき	12月上旬	南アルプス市	知的障害者3人
20	キウイ、洋梨、すもも	選定後の枝の回収作業	2月上旬	南アルプス市	精神障害者5人
21	小麦	選別作業	2月中旬	都留市	知的障害者3人
22	すもも	花粉取り	3月下旬	南アルプス市	精神障害者5人

別紙 標準様式

作業名	桑の葉枝分離作業		No. 1
手 順			支援者の業務・ 注意すべき点
		用意してあるネットの袋の中で、一方の手で枝の上を持ち、他の手で下に向かって葉を落とす。	先端部分の柔らかい葉黄色い葉、また、ゴミや草ははじいて捨てる。
		葉を取った後の枝は、下に設置してある器具の上に置き、ある程度の量になったら紐で結んでまとめる。	口を閉める前に、周囲に落ちてしまった良質な葉は拾い、ネットに入れる。
		ネットの袋が葉で一杯になったら、ポールからネットを外し、口を閉め、空のネットを洗濯挟みで留めての作業から繰り返す。	葉を周囲にばらまかないように、ネットの中の低い位置で葉を落とす。
		枝から分離した葉をベルトコンベアーに流していく。	異物が混入していないか、葉の表裏を一枚一枚チェックして置いていく。
失敗例		枝先端部分（柔らかい部分）をネットに入れてしまった。 黄色い葉を省かなかった。	手元を注視しつつ声掛けを行い、一緒に確認してもらう必要がある。
作業時期	初秋	難易度	中
想定工賃	720円/日		
使用器具等	<ul style="list-style-type: none"> ・軍手 ・収集ネット ・収集ネット用ポール ・机（桑の枝を置く） ・ベルトコンベアー 		
適用	<ul style="list-style-type: none"> ・作業場では桑郷さんで用意して下さったスリッパを履いての作業。 ・異物混入を防ぐため、エプロンとキャップをきりあてで予め用意した。 		
実施事業所名	特定非営利活動法人希会	きりあ	作成日 平成28年9月26日
作成者	加賀美		

別紙 標準様式

作業名	製品パックへのシール貼り		No. 2
手 順			支援者の業務・ 注意すべき点
		桑郷スタッフが作成して下さった補助具を使用し、パックの指定された場所へシールを貼る。	パックに対して真っ直ぐに貼る。又、空気が入っていないかチェックする。
		50枚ずつの束にして、帯で留める。	シールにしわや折れなどないか、確認しながらまとめていく。
		他の利用者さんとは別で丸いシールを指定された場所に貼る。	「特産品」の文字が真っ直ぐになるように貼っていく（声を掛けていく）。
失敗例		しわが入ってしまった。貼り直しても、しわが出るので不良品となってしまった。	ゆっくり丁寧に貼る事を心掛けるよう、声掛けを行った。
作業時期	初秋	難易度	中
想定工賃	0.5円/枚		
使用器具等	<ul style="list-style-type: none"> ・シール貼り補助具 ・透明ファイル ・軍手 		
適用			
実施事業所名	特定非営利活動法人希会	きりあ	作成日 平成28年9月20日
作成者	加賀美		

別紙 標準様式

作業名	ぶどうの笠交換(厚紙から透明ビニール笠)と袋はずし 作業		No. 3
手 順			支援者の業務・ 注意すべき点
		ぶどうの房に付いている厚紙の笠をホッチキス止めの所から丁寧に取り外します。	笠を再利用するので丁寧な取り扱いをするように注意
		続いて透明ビニールの笠の切れ込み部分を房の茎を挟むように笠の中心点まで被せてゆきます。	確実に笠の中心まで茎を通すこと。
		被せたところで、茎を中心にした三角屋根のような形になるよう笠の両脇をすぼめてゆき形を整えます	
		形の整ったところで両端の重なった所の頂点に近い上部をホッチキスで止めます。	笠の下部でホッチキス止めをすると上部に隙間が出来てしまうので注意
		房に付いている紙袋を丁寧に取り外します。茎のところに針金状の物で巻き付けてあるので巻き付け部分から外し下に引き下ろします。	房を傷めないようにゆっくり作業をするように注意
作業時期	8月下旬	難易度	2
想定工賃	20,000 円 / 日		
使用器具等	持参器具無し、ホッチキス、前掛け(取り外した厚紙の笠を入れておくポケットあり)を先方が用意してくれた。		
適用	蚊への配慮が必要、熱中症、日焼け対策も必要。長袖、軍手、タオル、帽子は必須。 対象面積 ; 10a		
実施事業所名	ジョブスペースかけはし		作成者
作成者	久保川		作成日 平成28年8月25日

別紙 標準様式

作業名	ぶどうの笠交換(厚紙から透明ビニール笠)と袋はずし 作業		No. 3
手 順			支援者の業務・ 注意すべき点
		完成画像。 陽にあたり完熟してゆき ます	ぶどう棚の下の 作業ですが、日 焼け、熱中症、 虫刺され防止対 策に注意が必要
		取り外した袋はその場に 落としてゆき、担当利用者 が回収してゆくように作 業を分割	細かな丁寧な作 業が困難な利用 者も参加できる ように袋の回収 作業を分割
		取り外した再利用の厚紙 笠は前掛けのポケットの 中に仕舞っておく	
		ポケットに溜まった笠を 箱に収納	丁寧にしわを伸 ばして箱に仕舞 うことを注意
失敗例		無理に外そうとすると笠 がやぶれてしまう、袋も笠 も丁寧に外しないとブド ウの房も、笠も傷めてしま う。	慌てずゆっくり 作業を行うこと を指示
作業時期	8月中旬	難易度	2 想定工賃 20000円/日
使用器具等	持参器具無し、ホッチキス、前掛け(取り外した厚紙の笠を入れておくポケットあり)を先方が用意してくれた。		
適用	蚊への配慮が必要、熱中症、日焼け対策も必要。長袖、軍手、タオル、帽子は必須。 対象面積 ; 10a		
実施事業所名	ジョブスペースかけはし	作成日	平成28年8月25日
作成者	久保川		

作業名		出荷できないブドウを収穫し、傘を回収する作業		No. 4	
手 順				支援者の業務・注意すべき点	
		ハサミを使い、傘や木を切らないように気をつけながら、収穫を行う。落とさないように気をつける(両手で行う)！		切る場所の指示 安全への留意	
		収穫したブドウをコンテナに入れる。収穫したブドウを受け取り、丁寧に入れる。*二人ペア(収穫する人とコンテナに持つ人)でスムーズに仕事が進む。		コンテナの準備 コンテナに入れた後の指示(コンテナ一杯になったら運ぶ)	
		コンテナを運ぶ。一ヶ所に集めるので、所定の場所まで一人で運ぶ。両手で落とさないように慎重に運ぶ。		安全への留意 運んだ後の指示(空のコンテナを持って行く)	
		ブドウから傘を外す。その際、ブドウの上から傘を外すとブドウが取れない。		スムーズに進めることができるように取り終えた空のコンテナを運び、傘があるコンテナを準備する	
		傘を重ねて集める。同じ方向に並べて入れることで、かさを少なくする。		方向が間違えないように確認し、かご一杯になったら、空のかごを準備する	
作業時期		10月		難易度	
使用器具等		ハサミ コンテナ かご 袋		想定工賃	
適用				8,000 円/日	
実施事業所名		みらいコンパニー		作成日	
作成者		八巻		平成 28 年 10 月 12 日	

別紙 標準様式

作業名		ブドウ傘のホチキスを外す、たたむ作業		No. 5	
手 順			支援者の業務・注意すべき点		
		ブドウ傘に二カ所ホチキス止めがされているので、ホチキスの表裏を確認し、道具を使い外す。		ケガをしないように手袋をはめ、外し忘れがないように気をつける。また、外す際、ホチキスの表裏を間違えないようにする。	
		ホチキスを外した傘を同じ向きに重ねる。		ホチキスの外し忘れがないか、傘の向きの確認を行う。	
		傘を半分に折る。		傘の半分の位置確認。折る枚数の適量を配慮する。	
		半分に折った傘をコンテナに入れる。		適量になったら次のコンテナを準備する。(適量の確認)	
作業時期		10月	難易度	想定工賃	8,000 円/日
使用器具等	かご コンテナ ホチキスを外す道具				
適用					
実施事業所名	みらいコンパニー			作成日	平成 28 年 10 月 21 日
作成者	八巻				

別紙 標準様式

作業名		ブドウ傘の洗い作業 干し作業		No. 6
手 順				支援者の業務・注意すべき点
		傘を流し台に数枚入れて、一枚ずつ両面（表裏）を洗う。スポンジを使い、隅から隅まで、丁寧に力を入れて汚れを落とす。洗い終わった傘は、流し台の横に掛けておく。 * 事前にりんご酢と水が入ったバケツに傘をつけておくことで汚れが落ちやすい)		洗い方（方向、力の加減等）の説明。汚れ残しの確認（表裏）。
		一枚ずつハンガーに干す。洗濯ばさみで挟む場所は、傘の切れ目が入っていない上の端（右か左）。		挟む場所の確認。傘が重ならないように気をつける。
		ペアで行うことで傘を手渡し、スムーズに作業を進めることができる。その際、洗濯ばさみで挟む場所を上にする事で干しやすくなる。		手渡すときに傘を落とさないように気をつける。一枚ずつ手渡す。渡すときの方向・場所の確認。
		干す場所からハンガーを運び、日当たりのいい場所に干す。その際、ハンガーが重ならないように配慮する。乾いたら取り込む。		ハンガーが重ならないように干す。ハンガーを落とさないように気をつける。
作業時期	10月	難易度		想定工賃 8,000 円/日
使用器具等	スポンジ ハンガー			
適用				
実施事業所名	みらいコンパニー		作成日	平成 28 年 10 月 26 日
作成者	八巻			

作業名		ぶどう棚作り（組み立て・設置作業）		No. 7	
手 順				支援者の業務・注意すべき点	
		鉄パイプを立てる場所に穴を掘る。ロープに印がついているので、印の下をスコップで掘る。		スコップで掘る際に、穴の深さや広さの指示を行う。また、ロープをたるませないように配慮する。	
		鉄パイプを運ぶ。		重いので数名で運ぶ。また、周囲の桃の木にぶつからないように配慮する。	
		鉄パイプを入れ、固定した後、土をかけて埋める。		土をかける際、鉄パイプが傾かないように配慮する。	
		固定する際、水平を保ちながら、鉄パイプを支える。		水平を維持し、傾かないように力の加減に配慮する。数名で役割分担を行う。	
作業時期 12月		難易度		想定工賃 8,000 円/日	
使用器具等		スコップ			
適用					
実施事業所名		みらいコンパニー		作成日 平成 28 年 12 月 12 日	
作成者		八巻			

別紙 標準様式

作業名		ぶどうの木の剪定作業（テープをはがす作業）		No. 8	
手 順				支援者の業務・注意すべき点	
				白いテープが付いている場所を探す。	
				枝と棚（針金）の間に剪定ばさみの刃を入れる。白いテープのみを切る。	
				ペアで行い、1人がテープを取り、もう一人がバケツでテープを受け取り（手渡し・バケツに直接）、回収する。	
作業時期		12月		難易度	
				想定工賃	
				8,000 円/日	
使用器具等		ハサミ コンテナ かご 袋			
適用					
実施事業所名		みらいコンパニー		作成日 平成 28 年 12 月 19 日	
作成者		八巻			

別紙 標準様式

作業名	稲刈り後の「うま」を使った掛け干し作業		No. 9
手 順			支援者の業務・ 注意すべき点
		3本仕立ての「ウマ」の最上部に掛ける際は左右同量を振り分けて掛けてゆく	稲束を掛ける場所により振り分ける比率が違うのでその都度利用者に注意喚起
		下段の「うま」に掛ける際は内側に当たる稲束は少なく、外側は多く、4分6若しくは3分7分に振り分けて内側も風が通り易く乾燥するようにする	下段は内側を少なく振り分けるが厳密なものでもない。要は内側に風も通るようにすること。
		「うま」の近くまで稲束を集めてくる	作業困難な利用者には「うま」の近くまで稲束を集めてくる作業が効果的
		掛けたら片側に隙間の無いように詰めてゆく	下段からきっちり詰めて掛けてゆかないと掛けきれなくなるので注意
		下側の「うま」から掛けてゆき最上部はそのあとから掛ける、3本全てに掛かったら上からブルーシートをかけて終了。	下部が最初、上部が後。後から下部に掛けることは出来ない。
作業時期	9月中旬	難易度	1 想定工賃 6000円/日
使用器具等	持参器具 草刈鎌、長靴、長袖シャツ、帽子、タオル必須。		
適用	日焼け、熱中症対策は必須。 対象面積；35a		
実施事業所名	ジョブスペースかけはし	作成者	久保川
		作成日	平成28年9月16日

別紙 標準様式

作業名		稲の脱穀作業		No. 10	
手 順				支援者の業務・注意すべき点	
			「うま」に掛け干しされている稲を脱穀機に運ぶ	脱穀機の操作は農家さんが行うので作業しやすいように置く場所を支持	
			脱穀の終わった稲藁を田んぼの各所に振り分ける。後で粉碎して田にすき込むとのこと。	足元がぬかるんでいるところもあるので注意喚起する	
			一部一か所に必要量だけ残しておく	稲わらを他に利用するとのこと一か所に集めた	
			農家さんと作業後のお茶で意見交換		
作業時期		9月下旬		難易度	1
使用器具等		持参器具 長靴、長袖シャツ、帽子、タオル必須。			
適用		足元を取られることもあるので注意 対象面積；10a			
実施事業所名		ジョブスペースかけはし		作成日 平成28年9月28日	
作成者		久保川			

別紙 標準様式

作業名	イチゴの苗の定植作業		NO, 11
手 順			支援者の業務・注目すべき点
		イチゴの苗が入っているポットを少しもむ。この際にポットが割れないように軽い力でもむ。	力いっぱいもんでしまうとポットが破損してしまうので注意
		カットしてある茎の部分を掴み苗を引っ張り出し根が少し茶色がかっている物は根をほぐしばらけさせる。(ある程度、白い根であればそのまま植えてOK)	カットしてある茎を見分けるのは簡単であるが、根の色の判断に注意が必要
		カットしてある茎が奥になるようにマルチの穴が開いている部分に入れる。	必ずカットしてある根が奥に向いているか確認する。
		周りの土を寄せながら押し込む。	マルチを破かないように土を寄せる。押し込んでから土を寄せる方が効果的
		根が飛び出していない事や苗が浮いていないことを確認したら終了。	根が飛び出していないか、マルチに挟まっていないか確認する
作業時期	10月上旬	難易度	1 想定工賃 2,000円
使用器具等	持参器具 長靴・長袖・長ズボン・タオル・帽子		
適用	熱中症対策 対象面積：10a		
事業所名	山梨クリナーズ	作成者	秋山 作成日 平成28年10月17日

別紙 標準様式

作業名	イチゴハウス内の環境整備		NO, 12
手 順			支援者の業務・注目すべき点
	<p>立ちカンナの場合 イチゴハウス外の畔整備。畔の形を崩さないように草を取る。草が取れたら、ある程度平らになるようにする。</p>	<p>掘れすぎてしまい、畔が凸凹にならないように適度な力加減で行う。</p>	
	<p>鍬の場合 立ちカンナと同様に畔を壊さないように行う。その際に掘れすぎを防止するために、鍬を寝かして行う。</p>	<p>鍬を立てて行うと掘れすぎてしまうので、必ず寝かして行う。</p>	
	<p>ハウス内の通路の整備、落ちた葉や草を取る。また、端からスタートして端まで行き最後にゴミを取る。台車が通れるように平らに行う。</p>	<p>畔と同様になるべく平らにし、収穫用の台車がスムーズに通れるようにする。</p>	
	<p>立ちカンナを使って行う際にマルチを傷つけないように注意をする。</p>	<p>慎重に行わないとマルチを傷つけるので、ゆっくりとやるように声掛けが必要</p>	
	<p>ハウス内には授粉用のミツバチがいるために巣箱は刺激しないように気を付ける。</p>	<p>ハウスに入る前にミツバチに刺激を与えないように説明が必要</p>	
作業時期 11月下旬	難易度 1	想定工賃 1,000円	
使用器具等	持参器具 鍬 立ちカンナ 長靴・長袖・長ズボン・タオル・帽子		
適用	足元がぬかるむ場所もあるので注意が必要 対象面積：10a		
事業所名 山梨クリナーズ 作成者 秋山		作成日 平成28年12月12日	

別紙 標準様式

作業名	イチゴの摘花作業		NO, 13
手 順			支援者の業務・注目すべき点
	取った花や芽を入れるための段ボールを用意して取り組む。中腰で地面がぬかるんでいる場合があるので、長物を履く。	ハウス内が暑いので、水分や着衣の確認が必要。	
	、まずは、しっかりと実や花の全体が見れるような位置に自分が座り、株の全体像を確認する。	花や実が良く見える位置まで動かす。又は葉をどかす。	
	実がなっている上に咲いている花は取る。どちらかのつぼみに栄養が行くようにする。取った後はそのままOK	何度か曖昧になっていないか確認を行う。	
	、枯れている花や芽は取る。間違っても取らないようにするために、明らかに茶色いもの以外はそのままにする。	枯れているものは触った感触でも感じてもらう。カサカサしている。	
	、大きなつぼみの下に出来ている小さなつぼみは取る。(根に近い部分に実がなっているもの)	株の全体像がしっかりと把握できているか確認を行う。	
作業時期 2月下旬	難易度 5	想定工賃 2,000円	
使用器具等	段ボール・長靴・長袖・長ズボン・タオル・帽子		
適用	足元がぬかるむ場所もあるので注意が必要 対象面積：10a		
事業所名 山梨クリナーズ 作成者 秋山	作成日 平成29年3月3日		

別紙 標準様式

作業名	そばの実の選別作業		No.14
手 順			支援者の業務・ 注意すべき点
		<p>収穫したそばの実を専用の機械にかけ、大きなゴミを取り除く。</p>	<p>一度に入れすぎないように量を調整する。</p>
		<p>機械で取りきれないゴミを手で取り除く。</p>	<p>石と実が似ているので間違えないように注意する。</p>
		<p>で選別したそばの実を専用機械に入れ貯めておく。ボタンを押し一定量のそばの実を広げる。</p>	<p>そばの実を出しすぎないようにする。とげなどに注意する。</p>
		<p>細かなゴミや異物などを目視で再度確認しながら異物を取り除く。</p>	<p>ゴミや小さな虫などの異物を全て取り除く。よく確認する。</p>
		<p>選別終わったそばの実をテーブル端の穴から下の段ボール箱に入れる。</p>	<p>そば殻はゴミとして取り除く。</p>
		<p>下段段ボールに実がたまったら袋詰めの専用機械に入れる。</p>	<p>箱に貯めすぎないように量を確認する。</p>
作業時期	10月下旬	難易度	2 想定工賃 円/日
使用器具等	軍手（毛糸繊維のものは不可）		
適用	寒い時期での作業なので、防寒対策は必要。 そば殻が尖っているものもあるので怪我をしないように注意する。		
実施事業所名	就労支援センターいちごいちえ	作成日	平成 28 年 11 月 日
作成者	佐藤		

別紙 標準様式

作業名	いも根切り・選別作業		No. 15
手 順			支援者の業務・ 注意すべき点
		さつまいもの土で衣服が汚れてしまうため、写真のようにエプロンを着用する	ビニール素材が望ましい。
		コンテナを用意して作業ができる環境をつくる	2つのコンテナを用意すると大きさ別に選別しやすくなる
		さつまいもの両端の根の部分をハサミまたは包丁で1cm～2cm位切る	包丁使用の際は必ず手袋を着用する
		根の部分を切るがさつまいもの状態（キズやいたみ等）によってはもうすこしカットする	
		長さ大きさ別に選別する	
作業時期	11月上旬	難易度 1 想定工賃 2,400円/日	
使用器具等	持参器具 エプロン、長靴、長袖シャツ、帽子、タオル必須。		
適用	日焼け、熱中症対策は必須。 対象面積；		
実施事業所名 作成者	社会福祉法人 八ヶ岳名水会 阿部		
作成日	平成29年 1月27日		

別紙 標準様式

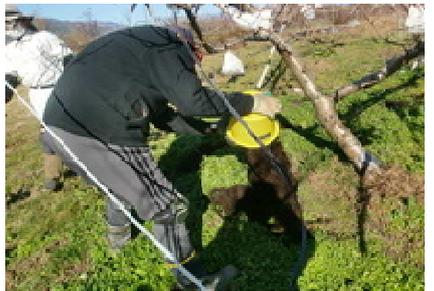
作業名	大根洗い作業		No. 16
手 順			支援者の業務・ 注意すべき点
		収穫した大根を袋から取り出す	必要に応じて洗浄機横大根の入った袋を用意する
		大根の先端を洗浄機の回転しているブラシに押しあて土の汚れを落とす	大根の先端をキズ付けてしまう恐れがあるため強く押しあてないようにする
		大根を水平にしてゆっくり洗浄機へ投入する	急いで投入してしまうと大根が斜め送られてしまうので注意
		洗浄機から出てきた大根を水につけながら手で洗う	汚れの残りやキズがないか確認しながら行う
		洗い終わった大根を向きをそろえコンテナに入れる	大根にキズがつかないようにていねいに入れる
作業時期	11月中旬	難易度	2 想定工賃 2,400円/日
使用器具等	長靴、長袖シャツ、帽子、前掛け、タオル必須。		
適用	日焼け、熱中症対策は必須。 対象面積；		
実施事業所名 作成者	社会福祉法人八ヶ岳名水会 阿部		作成日 平成28年12月11日

別紙 標準様式

作業名	大根の収穫・出荷作業		No. 17
手 順			支援者の業務・ 注意すべき点
		大きく生長した大根を引き抜く	虫食いは廃棄するように引き抜いた際に確認するように注意喚起
		根を切り取る	根の細い部分のみを切ること。包丁を扱う際には手袋を着用すること。
		葉を切り取る	10cm程度残して包丁で切り取る。手袋を着用すること。
		袋を用意して大根を3本入れる	入れる本数は6本のみにする
		車両に積み込む	同じ方向に向けて積み込む
作業時期	11月中旬	難易度	2 想定工賃 2,400円/日
使用器具等	包丁、長靴、長袖シャツ、帽子、前掛け、タオル必須。		
適用	日焼け、熱中症対策は必須。 対象面積；		
実施事業所名	社会福祉法人 八ヶ岳名水会	作成日	平成29年 1月11日
作成者	阿部		

別紙 標準様式

作業名	柿の収穫		No. 18
手 順			支援者の業務・ 注意すべき点
		収穫後に残った柿を全て 収穫する	高いところにあ る柿は高枝切狭 や梯子、足場を 作って安全に行 う。
		高いところの柿は高枝切 狭を使用。一部は職員が足 場を作って作業を行う。	高所の危険など ころは職員が代 行する
		干し柿にするためには枝 をT字型に柿に残せるよ うに切り落とす。	少し長めに木の 枝から切り落と し、下で利用者 がT字型に成形 した。
		高枝切狭を使える利用者 はそれを使用し、残りは下 で柿を受け取り成形する よう作業分割	切り落とした柿 が頭の上に落ち ないように木か ら距離を置くよ う指示
		作業終了後、取り残しがな いか確認。	
作業時期	11月中旬	難易度	1 想定工賃 5000円/日
使用器具等	持参器具 長靴、長袖シャツ、帽子、タオル必須。		
適用	集中して作業すると腰が痛くなるので適時休憩が必要 対象面積；10a		
実施事業所名	ジョブスペースかけはし	作成日	平成28年11月25日
作成者	久保川		

作業名		桃畑の肥料撒き		No. 1 9	
手 順				支援者の業務・注意すべき点	
		<p>バケツをたくさん並べる。重なっているバケツを一つひとつにする。</p> <p>肥料が入れやすい場所に置く。</p>		<p>バケツを置く場所・数の指示、確認を行う。バケツの数が少なくなってきたら、補充を行う。</p>	
		<p>スコップを使用して、肥料をバケツいっぱいに入れる。山になっている肥料をこぼさずにスコップでバケツに入れる。</p>		<p>バケツからこぼれないように見守り、適量を伝える。また、終了後の報告を指示する。</p>	
		<p>肥料を入れたバケツを運搬機に載せる。バケツが多く載せることができるようにバケツの位置を考えながら置く。</p>		<p>運搬機のどこに載せるのか場所の指示を行う。また、バランスをみながら、バケツの大きさを配慮し、修正を行う。</p>	
		<p>桃の木の周辺に円状に撒く。一ヶ所だけ多くならないように均等に撒く。桃の木の大きさによって撒く場所が変わる。例えば、大きい場合は、木の根元から離れた場所、小さい木の場合は、木の根元にも撒く。</p>		<p>木の大きさによって場所の指示や均等に撒くように肥料の量の確認。また、桃の枝に頭や体などが触れないように注意を促す。身長が高い方には、撒きやすい場所をお願いする。</p>	
		<p>桃の木の場所によって、肥料の量が異なるので(多い場所がある)確認しながら、適量を撒く。</p>		<p>肥料の量を確認し、適量を指示する。</p>	
作業時期 12月		難易度		想定工賃 8,000 円/日	
使用器具等		バケツ スコップ 運搬機			
適用					
実施事業所名		みらいコンパニー		作成日 平成 28 年 12 月 2 日	
作成者		八巻			

別紙 標準様式

作業名	剪定後の枝の回収整理作業		No. 20
手 順			支援者の業務・ 注意すべき点
		キウイ・洋ナシ・すもも畑 に散乱している剪定後の 枝を拾う	
		細かな枝も拾い集める	かがんだ姿勢が 長く続くので時 折背を伸ばすよ うに声かけをす る。
		畑の各所に拾い集めた枝 を集めてゆく。	集積する場所は 職員が等間隔に 予め指定してお く
		粉砕機にかけられない枝 は一か所に集める。キウイ の枝は別にして集める。	場所を利用者全 員に周知徹底し キウイは担当者 を特定する
		作業終了後、職員が見回り 拾い残しがないか最終確 認	
作業時期	2月上旬	難易度	1 想定工賃 5000円/日
使用器具等	持参器具 長靴、長袖シャツ、帽子、タオル必須。		
適用	集中して作業すると腰が痛くなるので適時休憩が必要 対象面積；10a		
実施事業所名	ジョブスペースかけはし	作成日	平成29年2月1日
作成者	久保川		

別紙 標準様式

作業名	小麦選別調整作業		No. 2 1
手 順			支援者の業務・ 注意すべき点
		<p>選別作業に必要な道具等、 小さめの金属の皿、ピンセ ット</p>	<p>選別作業で大き なトレイ等を使用すると、種子 への注意が散漫 になる。</p>
		<p>小さめの皿に、一掴み程度 の小麦を取り、不適正な物 を除去する。</p>	<p>しっかりとした 見本を作り、迷 わないようにす る。</p>
		<p>不適正として除去された ものを、もう一度最終選別 する。</p>	<p>この最終選別 は、スタッフが しますが、当園 で唯一できる利 用者が一人いま す。</p>
作業時期	1月、2月の農閑期	難易度	普通
使用器具等	ステンレス・アルミ等の静電気のおきない小さめの皿（直径15cm位） ピンセット		
適用	注意力、集中力の継続が大事 こまめな気分転換が必要		
実施事業所名	みとおし	作成日	2017年3月3日
作成者	加藤		

別紙 標準様式

作業名	すももの花粉とり		No. 22
手 順			支援者の業務・ 注意すべき点
		花粉取得用のすももの木から枝を切り落とす	枝の切り落としは農家さんが行う
		切り落とした枝を各自取りコンテナを自分の前に置く	作業中に他の人に枝がぶつからない様に声をかける
		枝から花をこそぎ落とし、手前のコンテナに入れてゆく	あまり強くこそぎ落とすと枝が入ってしまうことを注意する
		小枝が入らないように注意する	
		作業終了後、小枝が入っていないか再確認。	
作業時期	3月下旬	難易度	1 想定工賃 3000円/日
使用器具等	持参器具 長靴、長袖シャツ、帽子、軍手 タオル必須。		
適用	作業が単純なので話ながらでもできる 対象面積；10a		
実施事業所名	ジョブスペースかけはし	作成日	平成29年3月24日
作成者	久保川		